



第57号

令和2年6月発行
(社福)多摩市社会福祉協議会
地域福祉推進課 まちづくり推進担当
TEL042-373-5616
FAX042-373-6629

ふれあい・いきいきサロン通信

ふれあい・いきいきサロンは地域の誰もが気軽に参加できる地域の楽しい集いの場です

サロンの再開に向けて！

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、3月より「ふれあい・いきいきサロン」の活動の自粛の協力をお願いして来たところですが、5月25日に緊急事態宣言が解除となりましたので、以下のとおりお知らせいたします。



1. 活動再開の目安

7月以降の再開をお願いします。

総合福祉センターの諸室の貸し出しも、7月からスタートの予定です。また、サロンには虚弱の方、基礎疾患をお持ちの方もいらっしゃいます。皆様の健康を考え、7月以降の再開をお願いします。

2. 活動時の注意事項（「新しい生活様式」に基づく活動の徹底）

7月以降、サロン活動を再開される際は、次のページのチェック項目をご確認いただき、感染対策を行った上で、開催いただくよう、お願いいたします。

※チェック項目の対応が難しい場合は、感染のリスクを避けるため、開催の自粛をお願いします。

【チェック項目の内容】（詳細は、次のページを）

- ◆参加をする前に
- ◆サロンの会場で

3. その他

新型コロナの感染者数が増加し、再び緊急事態宣言等が発令された場合、活動の自粛をお願いする場合があります。

サロンを 開く時に☑しましょう

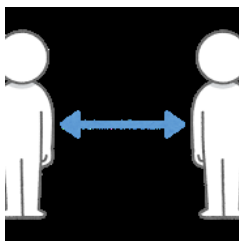
「新しい生活様式」に基づき、参加者各自、会場でも、感染防止に努めた上で、開催いただきますようお願いいたします。

感染防止対策が図れない場合、開催は見合わせるよう、お願いいたします。

(※サロン保険は、新型コロナウイルスは補償されません)

感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保



② マスクの着用



③ うがい、手洗い



チェック項目



◆参加をする前に（体調の確認）

- 自宅で、必ず検温
 - ・平熱より1度超過の場合、少しでも体調に異変がある場合は、参加しないでください。
- ご家族に発熱、せき等の症状がある人がいないか、確認
 - ・**ご家族に**発熱、せき等の症状がある場合、参加はご遠慮ください。
- マスクを着用する（体操時は、マスクを外して距離を取る場合もあり）

◆会場で（三密を避ける、飛沫感染を防ぐ）

- 三密（密集・密接・密閉）を防ぐ
 - ・参加者同士、前後・左右の距離を十分にとってください。（できるだけ2メートル。最低でも1メートル）

・正面に向い合って座ることを出来る限り避けましょう。

換気をよくする

・開けられる窓は全て開ける等、部屋の十分な換気を行ってください。

こまめな手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底

飛沫飛散の防止

- ・マスクを外しての会話はしない
- ・密集しての会話を避ける

活動内容を考慮

- ・人が密集する調理を避ける
- ・大皿での食事は避ける
- ・可能な限り、飲食を避ける（水分補給は除く）
- ・多人数での食事を避ける



◆帰宅したら

手洗い、うがいの徹底

感染防止に屋外活動も ご検討ください

屋外での実施もあります。

・まち歩きなど屋外で実施が可能であれば、ぜひ検討してみてください。

◆ 同封の「コロナに喝！勝！」のリーフレットをご参照ください。
(フレイルの防止)

◆ おねがい

現在、室内を活動場所で申請しているサロンが屋外で活動する場合、保険の変更手続きをいたしますので、場所と日時について、必ず社協までご一報ください。

電話 042 (373 (5616))

コロナに負けるな！

自粛期間中のサロンの活動の紹介

活動自粛期間中も、つながりを大切に、創意工夫を凝らし、出来る活動をしているサロンや地域活動があります。活動の一部を紹介いたします。

環の会通信特別号



「グリーンメゾン鶴牧3 環（わ）の会」では、サロンの参加者を始め、地域にお住まいの皆さんに、広報誌を全戸配布しました。「会合が出来ない中で、何とかみんなで励ましあう方法はないか。」と考えた結果、塗り絵や散歩道など、自粛中の個人の生活紹介等を掲載した「環の会通信特別号」を発行し、団地内の交流の場とすることにしました。

子どもから高齢の方まで、多くの反響がありました。4月25日から10日に1回程度、通信を発行して、交流を続けています。

壁新聞



百草団地周辺地区地域福祉推進委員会「三方の森ふれんど」は、新型コロナウイルスの影響により外出自粛を続ける地域の人たちを何とか元気づけたいと、皆さんの目に留まりやすい掲示板に手作りの壁新聞を掲示しています。

壁新聞には、同委員会のメンバー、西部地域包括支援センター、社会福祉協議会等の手書きのメッセージが掲示されて、散歩途中の人たちの楽しみの一つになっています。